

## 第 29 回 圧力設備規格審議委員会議事録

1. 日 時： 2018 年 2 月 20 日(月) 15:00～16:30

2. 場 所： HPI 会議室

3. 出席者（敬称略）

委 員：高木委員長(火原協)、阿部(NIMS)、磯村(KHK)、熊谷(電中研)、佐々木(労働安全衛生総合研究所)、石毛(IHI)、児玉(新日鐵住金)、新川(東芝 ES)、寺田(神鋼)、宮崎(日立)、武部(日本ガス協会)、御手洗(千代田化工)、門(日揮)、中代(IHI 検査計測)、朝田副委員長(三菱重工、記)

説明者：森本(三菱ケミカル)、近藤(新興プランテック)

事務局：畑岸、田中(HPI)

4. 配布資料：圧力設備規格委員会－29－

1 第 28 回圧力設備規格審議委員会 議事録（案）

2-1 HPIS TR Z 110: 2018 フランジ締結作業トレーニング指針 付議書

2-2 HPIS TR Z 110: 2018 フランジ締結作業トレーニング指針 本体

2-3 磯村委員からのコメント

5. 議 事

(1) 前回議事録（案）の確認他

事前に電子メールによって配布、確認がされていた前回議事録(案)が承認された。

(2) HPIS TR Z 110：2018 フランジ締結作業トレーニング指針 制定案審議

HPI 事務局から制定の付議について説明があった。

森本フランジ認証 WG 主査から指針制定案の内容の説明があった。

審議の結果、以下のコメントが出された。これらのコメントを反映し、見直した上で、書面審査に入ることで承認された。

- ・トレーニング機関だけではなく社内認証も含めるべき。
- ・最低必要講習時間での管理者と作業者の時間の差の妥当性
- ・ボルトテンションの扱いの検討
- ・実技を受けた管理者が実技講習を免除される場合の有効期間
- ・解説 1.1 章の「管理されているとは言い難い状況」の見直し
- ・用語等の統一、整合：「作業管理者」と「管理者」、「トレーニング講習」と「トレーニングプログラム」、表 2 基礎講習項目と附属書の用語の整合、「・」の明確化、「ユーザ」の定義
- ・資料の体裁：表 2 基礎講習項目で大項目と小項目の番号付け。構成表に圧力設備のシーリング技術委員会の追加。

－ 以 上 －